

特定非営利活動法人 ピアソン会

第80号

2018. 6.10

ピアソン便り

発行人：吉田 邦子（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

ピアソン会事務局

(事務局長 伊藤 悟)

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel : 0157-31-1215

ピアソン記念館内

AM.9:30 ~ PM.4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp



第16回ピアソン会総会（通算20回）

「事業報告・決算報告・事業計画」議決して終了！

5月26日土曜日、ピアソン会活動開始後満20年を迎えた2018年度定期総会がピアソン記念館にて開催されました。
開会に先立ち、当会吉田理事長の挨拶、次に来賓出席の北見市教育委員会文化財課長平田様から当会活動に対する謝辞をいただきました。

議長に小川運営委員が選出され審議が始まりました。第1号議案の2017年度活動報告・会計報告が事務局からあり、質疑を受けた後、森下真裕美監査委員から、「一部帳票年月日等の誤記載があったがその他は適正に処理されていると確認した」との監査報告がなされました。

続いて、第2号議案の、2018年度事業計画（案）・会計予算（案）の審議に移りました。記念館の開館業務経費は受託事業費で委託料としての交付を受けていますが、ピアソン記念館事業費は全てピアソン会の独自予算で負担しています。そのため事業費の約80万円の確保と、それ以上の事業を計画した場合には、支援団体からの助成金が必要となり、年度内に「助成金申請」をする旨の説明がありました。

第20回グリーンコンサート開催のお知らせ

- ◎開催日時：2017年7月7日(土) 午後1時開演
- ◎開催会場：北見市幸町7丁目 ピアソン記念館 前庭
- ◎演奏団体：①北見中央小学校ブラスバンド部、②北見北中学校吹奏楽部
③北見工業大学・日本赤十字北海道看護大学吹奏楽部
④アイランドバトンチーム「チームエンジェル」
⑤北見吹奏楽団、5団体の出演予定。



市立北中学校（撮影2017年）

※駐車場は当日使用できませんのでご了解下さい。※雨天中止の場合（当日午前10時決定） 問合せ ☎ 31-1215

前年度の主な事業報告!

北見市指定管理者としてピアノン記念館の運営管理をメインとして実施いたしました。また、ピアノン記念館を活用し、各種自主事業(ピアノン便りとその都度報告済み)を実施してきましたので、それらを含めた会計報告になります。

《収入の部》

科 目	2016年度 決算額	2017年度 予算額	2017年度 決算額	増 減
会費収入	285,000	340,000	291,000	▲49,000
運営会員	90,000	100,000	90,000	▲10,000
賛助会員	75,000	90,000	81,000	▲9,000
フレンド会員	0	0	0	0
団体会員	120,000	150,000	120,000	▲30,000
寄付金収入	349,837	280,000	268,253	▲11,747
個人寄付	130,637	100,000	69,553	▲30,447
団体寄付	15,000	10,000	0	▲10,000
本の寄付	127,400	100,000	98,900	▲1,100
CDの寄付	0	0	0	0
絵葉書の寄付	76,800	70,000	99,800	29,800
その他	0	0	0	0
助成金収入	0	0	0	0
委託料収入	4,301,640	4,301,640	4,301,640	0
指定管理委託料	4,301,640	4,301,640	4,301,640	0
前受金	0	0	0	0
雑収入	6	0	6	6
今年度収入合計	4,936,477	4,921,640	4,860,899	▲60,741

2016年度繰越金 339,803 円 + 2017年度収入 4,860,899 円
= 5,200,702 円 (2017年度収入合計)

科 目	2016年度 決算額	2017年度 予算額	2017年度 決算額	増 減
指定管理受託事業	3,945,572	4,301,640	4,074,523	227,117
人件費	2,575,820	2,576,000	2,571,940	4,060
燃料費	128,560	237,000	171,396	65,604
印刷製本費	176,900	180,000	166,667	13,333
光熱水費	220,065	252,000	224,859	27,141
修繕料	0	50,000	32,600	17,400
通信運搬費	32,998	37,000	34,124	2,876
手数料	39,000	40,000	39,400	600
委託料	471,000	543,000	475,962	67,038
諸経費	207,689	68,000	252,722	▲184,722
消費税	93,540	318,640	104,853	213,787
ピアノン会経費	920,397	950,000	790,217	159,783
自主事業費	768,910	780,000	644,706	135,294
企画展事業	0	0	0	0
出版事業	0	0	10,000	▲10,000
ふれあい事業	512,565	450,000	437,260	12,740
コンサート事業	98,264	120,000	107,850	12,150
展示の充実事業	33,820	110,000	52,800	57,200
その他の事業	124,261	100,000	36,796	63,204
ピアノン会事務費	151,487	170,000	145,511	24,489
事務経費	3,989	10,000	0	10,000
通信費	83,754	90,000	85,625	4,375
会議費	35,084	30,000	59,886	▲29,886
旅費	0	10,000	0	10,000
雑費	28,660	30,000	0	30,000
予備費	0	9,803	0	9,023
今年度支出合計	4,865,969	5,261,443	4,864,740	396,703

今年度収入合計 5,200,702 円 - 今年度支出合計 4,864,740 円 = 次年度への繰越し 335,962 円

新年度事業の活発な論議!

新年度の事業につきましては、事務局より基本的な事業継続についての説明があり提案されました。特に一昨年より実施されていた『台所復元のための調査研究作業』・『多目的トイレの設置の研究』・『大型バス乗降場設置に関する調査』では、「北見市教育委員会が具体的に動き始めたが、結果的には予算措置がなされなかった」との報告がありました。

質疑応答では、会員からの意見として、『今年こそ、ピアノン会の正式な意思として、北見市へ「嘆願書」として集約した意見を提出すべきではないか」との強い提案がありました。

来賓の平田課長は、「教育委員会内部でも継続審議事項として扱われており今後も、大型バス駐車場、多目的トイレの設置など、来館者の要望に応えるよう改善していきたい」と答えていただきました。

次に、出版事業として、ピアノン夫妻の「未公開レポートや書簡」を、ピアノンブックレット第6号として出版する予定であるとの提案がなされました。

また、ピアノン会20周年記念誌発行(10周年の時には記念誌として発行)については、予算上厳しいので、記録保存用の「データ電子ブック」形式のもので考えているとの提案でした。

さらに、来館者に好評の、『ピアノン記念館オリジナルグッズ』の

製作にも力を入れ、自主事業に使える来館者からの資金源(寄付金)として、新作品開発を努力すると発表されました。

《2018年度収入予算の部》

科 目	2017年度 予算額	2017年度 決算額	2018年度 予算額
会費収入	340,000	291,000	340,000
運営会員	100,000	90,000	100,000
賛助会員	90,000	81,000	90,000
フレンド会員	0	0	0
団体会員	150,000	120,000	150,000
寄付金収入	280,000	349,837	310,000
個人寄付	100,000	130,637	100,000
団体寄付	10,000	15,000	10,000
本の寄付	100,000	127,400	100,000
CDの寄付	0	0	0
絵葉書の寄付等	70,000	76,800	100,000
助成金収入	0	0	0
助成金	0	0	0
委託料収入	4,301,640	4,301,640	4,301,640
指定管理委託料	4,301,640	4,301,640	4,301,640
前受金	0	6,000	0
雑収入	0	6	8
繰越金	339,803	269,023	335,962
2018年度収入合計	5,261,443	5,205,506	5,487,610

歴史、先人たちの労苦を偲ぶ資料館保存施設、そして、姉妹都市エリザベス市との架け橋となるピアノン記念館を見守る会員の、温かな思いを感じる貴重な総会であったと考えます。総会への参加ありがとうございました。今後ともご支援よろしくお願いたします。

《2018年度支出予算の部》

科 目	2017年度 予算額	2017年度 決算額	2018年度 予算額
指定管理受託事業	4,301,640	4,074,523	4,301,640
人件費	2,576,000	2,571,940	2,576,000
燃料費	237,000	171,396	237,000
印刷製本費	180,000	166,667	180,000
光熱水費	252,000	224,859	252,000
修繕料	50,000	32,600	50,000
通信運搬費	37,000	34,124	37,000
手数料	40,000	39,400	40,000
委託料	543,000	475,962	543,000
諸経費	68,000	252,722	68,000
消費税	318,640	104,853	318,640
自主事業費	780,000	644,706	1,010,000
企画展事業	0	0	0
出版事業	0	10,000	300,000
ふれあい事業	450,000	437,260	450,000
コンサート事業	120,000	107,850	100,000
展示の充実事業	110,000	52,800	110,000
その他の事業	100,000	36,796	50,000
ピアノン会事務費	170,000	145,511	175,000
事務経費	10,000	0	10,000
通信費	90,000	85,625	90,000
会議費	30,000	59,886	65,000
旅費	10,000	0	0
雑費	30,000	0	10,000
繰出し金	0	0	0
予備費	9,803	0	970
2018年度支出合計	5,261,443	4,864,740	5,487,610

2018年度会費納入のお願い

- ① 運営会員 (年会費5,000円)
- ② 賛助会員 (年会費3,000円)
- ③ 団体会員 (年会費1,000円)

●銀行振込は、北見信用金庫本店営業部、口座名/特定非営利活動法人ピアノン会 口座番号/1018723 普通口座 ●郵便振込ご利用の場合は、同封の指定振込用紙をご使用下さい。

素敵な来館者たち！



5月25日、丸瀬布の寿大学の学生41名の来館がありました。新入の寿大学生ということもあり、ピアソン夫妻が北海道開拓で果たした貴重な役割についての説明を、真剣な眼差しで聞き入っていました。質問も活発で、ピアソン邸の設計者ヴォーリズについてもメモをとっておりました。

4月は、新入社員や新入学生の季節でもあります。4月6日に北見市新入職員70名の研修来館がありました。今後、北見市民の公僕として持てる力を遺憾無く発揮していただきたいものです。生涯を人のために尽くしたピアソン夫妻の話を、みなさん凛々しい顔をして聞いておりました。



写真右／記念館職員からピアソン夫妻の功績を聞き取る北見市新入職員。



端野病院に通院する患者さん、21名が5月25日に来館しました。ピアソン邸に集まった当時の人々の話、開拓の苦労を互いに助け合い生きぬいた人々の話をしました。帰るときには多くの方から握手を求められ嬉しかったです。

スポンサー募集！

今後もピアソン便りの隔月刊発行を継続するため、協力スポンサーを募集致します。年間1万円の協力金で、会報に左図スペースでの広告を毎回掲載させて頂きます。スペース×6回となりますので、スペースを2倍とした場合は年3回となります。詳細については事務局まで。

驚「ピアソン学事始め」⑦

この「ピアソン学事始め」は、15年前に街の情報紙に書かれたものですが、少し手を加え年号なども修正し改稿として連載しています。

(7) ピアソンさんが学んだ
プリンストン大学と同窓生②

ピアソン宣教師とプリンストン大学での関係で、同窓生について述べておかなければならぬ重要な問題があります。それはいろいろな本に言及されているながら、本当の関係が確認されていないかったアメリカ第二十八代大統領W・ウィルソンとの関係です。

北見教会の牧師であった小池創造氏の書かれた「田舎伝道者ピアソン小伝」によりまずと、『ピアソンはニュージャーシー（プリンストン）大学では米国第二十八代大統領となったウィルソンらと机を並べ互いに切磋琢磨したと言われる』とあります。この記述から、『同級生であった』、『ピアソンと一・二番を競い合った』とかの書かれ方になっていったように思われます。今回の旅行（2002年12月の資料収集）でこの事もしっかり調べたく思っておりました。ウィルソンは、1876年か

ピアソン会理事 伊藤 悟

ら79年までの4年間をこの大学で過ごしました。ピアソンは1878年から82年までの4年間ですから、決して同級生ではなかったのです。但し同じキャンパスで二年間同期を過ごしたのですから、何らかの交流があったとも考えられます。

ウィルソンは1913年から21年まで大統領を勤めますが、ピアソン氏は1913年にアメリカへ一時帰国しております。もし、この帰国が大統領に就任した同窓の先輩、ウィルソン大統領へのお祝いのメッセージを伝えるためのものだったとしたら……と考えるのは、考え過ぎでしょうか。（つづく）



写真右／トーマス・ウッドロウ・ウィルソンの写真。アメリカ合衆国の政治家、政治学者であり、第28代アメリカ合衆国民主党政大統領である。

ピアノン夫妻資料収集記 (1)

ピアノン会理事 玉置 義弘



アメリカ人の友人とのメールのやり取りから、彼から教わった方法をヒントに 4月から5月にかけて、ピアノン夫妻の資料をインターネットを使って集めていました。今までピアノン会で保有していなかった思いがけない資料も多く、どのような資料が集まり、それがどのような意味を持つのかを、ピアノン便りで数回に分けて報告させていたきたいと思います。

今回集めたものの中には、ピアノン家とゲップ家の1850年から1930年までの国勢調査の原本があり、これによりピアノンさんとゲップ夫人の家族構成がかなり詳しくわかりました。特に今まで知られていなかったゲップ夫人の継母と、異母妹弟について知ることが出来ました。

鼻の形までが書かれていたのにはびっくりです。ちなみに身長は5フィート11インチ(約180センチ)と書かれていました。これは1年間の休暇を終わり、米国から日本へ戻る際に申請したものです。さらに1884年のプリンストン大学生時代にヨーロッパへ旅行した折の申請書もあり、この旅行について、大学の卒業文集?に書かれていることを確認できました。1921年と1928年の入国記録では、1921年に1年間の休暇(宣教師の場合は本部などへの宣教結果報告が主ですので、一般のバカンス的な意味合いは少ないですが)で米国に戻ったことが確認出来ます。1928年は日本での宣教活動を完全に終えて帰国したわけですが、5月15日に野

付牛を出発。6月27日にシアトルに着いたことがわかりました。

1888年のニュージャージー州の長老派教会議事録では、1888年6月24日にピアノンさんが按手札を受けた記録も確認できました。この日にピアノンさんは牧師に任命されたわけですが、今までの記録を第一次資料で再確認できたわけです。

他にプリンストン大学を卒業後に発行された同窓会の記念誌も何冊か見つかりました。特に1885年の「卒業文集」は序文をピアノンさんが書いており、3年間の学生生活を振り返った文章もあるのです。翻訳をお願いしてピアノン便りに掲載したいと思えます。その他にも1907年の同窓会誌には、クラスメイト達宛に「上海」から書かれた手紙があり、自分の宣教活動の感想が書かれているようです。他の号にもクラスメイトが書いたピアノンさんの学生時代のエピソードなどがあり、これらもこれから翻訳をお願いする予定です。

ゲップ夫人の女学校時代の出来事を掲載したニューヨーク・タイムズの記事もあり、1878年の事なので、夫妻に関する一番古い記録がこの記事かも知れません。このように今回の調査で入手

来たものは、ピアノン夫妻の個人的なものが多いのですが、今までの二人の伝記や年表がさらに詳しくなると考えています。

(つづく)

第18回文化サロン de ピアソン

講習会 『ラベンダーバンドルズ作り』

～ ラベンダーの香りいっぱいのステック製作 ～

◎場 所：講習会：ピアノン記念館前庭 予約申込 30名。材料費 800円。

◎日 時：2018年7月15日(日曜日) ① 10時～12時、15名

② 13時～15時、15名 (制作1時間半必要)

◎申 込：6月26日より受付開始。NPO法人ピアノン会(電話 0157-31-1215)

※詳しい事はNPO法人ピアノン会へお問い合わせください。

♪ 憧れのことなら、よっしーへ!!

お酒屋なめがね、機能的なめがね、お気に入りが見つかります。
めがねの修理も承っています。

賑わあつしよん・むけあ
めがねのよっしー

〒090-0043
北見市北三条西3丁目
TEL:0157-57-3664
定休日/毎週水曜日
営業時間/10:00～19:00

ピアノン会事務局
〒090-0043
北見市北三条西3丁目
TEL:0157-57-3664

編集後記

本来ならば5月末の発行予定ですが、総会報告が主な号でもありですので、若干予定日を遅らせて発行することになりましたのでご了承ください。

新年度事業を決める総会は、19名の参加で5月26日に無事終了いたしました。懇親会も13名の参加でオホーツクビール園で行われました。新運営会員を加えた楽しいひと時でした。今月号より、ピアノン便りに有料の広告第1号が登場いたしました。年6回の発行を支えるためにはあと数件の広告料が必要になります。ご協力ください。

大型連休も終わりましたが、ピアノン記念館への来館者は順調です。団体の来館者が若干増加しているように感じます。問題は駐車場とトイレです。

玉置理事の新連載が始まりました。インターネット上での情報収集で、驚くような資料や写真が紹介されると思います。ご期待ください。

(理事兼事務局長)

伊藤 悟